

府中市立府中第八中学校

第1回進路説明会

配信期間：令和5年6月22日（木）～7月3日（月）

<動画のご視聴方法>

スマート連絡帳で配布されるURLからご覧ください。



府中第八中学校第3学年

組 番

氏名

目次

I 進路指導全体について

- 1 本校の進路指導とこれから p.3
- 2 本校の推薦基準について p.4
- 3 進路を選ぶにあたって p.4

II 進路先について

- 1 就職について p.6
- 2 専修学校について p.7
- 3 高等専門学校について p.7
- 4 高等学校について
 - (1) 高等学校の種類 p.8
 - (2) 都立高校の課程・学科 p.9
 - (3) 私立高校について p.11
 - 私立高校の学費負担を
軽減する制度 p.11

III 入試の形態について

- 1 私立のみ受験する場合
 - (1) 推薦入試 p.13
 - (2) 第一志望受験 p.14
 - (3) 一般入試 p.14
- 2 都立第一志望で私立も受験する場合
 - (1) 私立高校を
一般入試で受ける p.15
 - (2) 私立併願優遇制度
を利用する p.15
 - (3) 都立推薦入試について p.17
 - (4) 都立の学力検査に基づく入試 p.18
- 3 都立高校のみ受験する場合 p.18

IV 英語スピーキングテストについて p.20

V 今後について

- 1 今後の大まかなスケジュール p.21
- 2 夏休みの過ごし方 p.21
- 進路年間予定 p.22

VI 本校の進路の状況について p.23

都立高校の得点を出してみよう p.24

I 進路指導全体について

1 本校の進路指導とこれから

本校では、「自己の将来について考えさせ、自己の適性や特性等を把握させるとともに自己実現に向けて必要な知識・技能を身につけさせる」という重点目標を設定し、主体的に進路を選択できる能力や将来のことを考える能力、勤労観・職業観を養う教育を推進しています。

これまで、総合的な学習の時間で「職業調べ」「レディネステスト」「働く人に話を聞く会」「上級学校調べ」などを行ってきました。

3年生になり、いよいよ卒業後の進路について本格的に考えなければなりません。

進路は「合格」や「行き先が決まる」ことがゴールではありません。「大きな目標に向かって進んでいくこと」です。高校受験や就職活動などは、その過程の『1つのハードルにすぎない』ことを意識してください。

そこで、生徒のみなさんがしなければならないことは次の6点です。

- ① 自分の進路を決めるのは 自分だとしっかり自覚する。
- ② 自分から学習する。(→実力をつける)
- ③ 学校生活にしっかり取り組む。
- ④ 自分から進路に関する情報を求める。
- ⑤ 家族、先生とよく話し合う。
- ⑥ 提出物、通知の返事、等 期限を守って出す。

2 本校の推薦基準について

都立高校（特別推薦を含む）や私立高校の推薦入試を受けるには、中学校長の推薦が必要です。本校では、中学校での学習や生活状況から判断し、進学後も継続して努力できる生徒を推薦しようと考えています。

推薦希望生徒を学年の教員全体で検討し、さらに、推薦検討委員会で検討します。その後、全職員による会議で諮り、最終的に学校長がそれらの話し合いを勘案して推薦することとしています。そのため、次のような生徒を基本に推薦を行っていきたいと考えています。

基本的な考え方

- ① 社会のルール・学校のルールがしっかりと守れる者
- ② 出欠状況、及び、学習態度が良好な者
- ③ 府中第八中学校の代表として、後輩の手本となる者

府中第八中学校推薦基準

「志望校の推薦基準（人物、中学校生活の状況、出欠席日数、遅刻・欠課・早退回数、成績基準、資格などの要件）」及び「推薦に値すると認められる生徒像」の要件を総合的に満たし、校長の責任において推薦できる生徒であること。

＜推薦に値すると認められる生徒像＞

- (1) 志望する目的意識が明確であり、その理由が適切である者
- (2) 学習に対する意欲があり、普段の授業を大切にし、真面目に取り組んでいる者
- (3) 基本的な生活習慣が身に付いており、出席状況（遅刻・欠課・早退含む）が良好である者
- (4) 学校行事、部活動、生徒会活動などに真面目に取り組んでいる者
- (5) 毎日の清掃、日直、係などの当番活動にきちんと取り組んでいる者
- (6) 生活指導上の大きな問題が無く、進学後もしっかりとした生活を送ることができる者
- (7) 本校の生徒として、最後まで前向きに中学校生活を送ることを約束し、実践できる者

※以下のような場合で再三の指導や注意によっても改善されない者は推薦できません

- ・ 触法行為や警察に補導されるなどの行為があった者
- ・ 学校のルールを守れず、教員の指導に従わない者
- ・ 他者をいじめたり、暴言や暴力、校舎破壊などを行う者
- ・ 遅刻・欠席・早退の多い者
- ・ 授業に対してきちんと取り組めない者（寝る・授業妨害・忘れ物・私語など）

3 進路を選ぶにあたって

卒業後の進路を考えると、遅くなると、目標が持てず、本気で学習に取り組むことも遅くなる傾向があります。時が経つにつれて、不安やあせりも大きくなりがちです。「どういう方向に進むか」ということだけでも、7月の進路希望調査までに家でよく話し合ってください。できれば、自分が行ってもよいと思う学校を3校くらいは見つけましょう。（第一志望のみでなく、第二志望までを早めに考えておくことが大切です。）

(1) 進路選択にあたっての留意点

- ① 将来の生き方に目を向けているか。
- ② 目的や理由がはっきりしているか。
- ③ 自分の適性等に合っているか。
- ④ 選んだ学科やコース等に興味があるか。
- ⑤ 校風・校則・環境等が合っているか。
- ⑥ 通学・通勤の便はどうか。
- ⑦ 学力・体力が自分に合っているか。

自分自身にとって、充実した生活を送れる進路先とはどんなところでしょうか。入学試験の難易度の高い学校が「良い学校」とは限りません。様々な面から考えて自分にとって「良い学校」を選びましょう。

あまり背伸びをして入学すると学習面・生活面で苦勞することがあります。在学中、成績が下位に低迷すると、進級できず卒業後の進路に影響することもあるのでよく考えましょう。

進路を決定していく上で、考えなければならないことがたくさんあります。根拠のない噂や情報に振り回されないように、一人で思い悩まず、保護者の方、先生方に相談しましょう。

(2) 進路先を選ぶためのポイント

- ① 卒業後の進路を考える ☆各校の卒業後の進路先データを見る。
- ・将来、大学・短大に進学したい (→普通科・理数科・国際科・外国語科など)
 - ・専門学校に進みたい。(→普通科・専門学科)
 - ・高校卒業後、就職したい (→普通科・専門学科…工業科・商業科・農業科・など)
 - ・働きながら高校に行きたい (→定時制・通信制)

② 進路先(学校や会社など)について調査、研究をしよう。

上級学校についての情報は、各教室に置いてある「高校受験案内」(黄色い本)パンフレット、インターネットなどで得ることができます。また、学年通信でもお知らせしてきますが、最終的には自分で実際に足を運んで次のようなことを確認しましょう。

- ・どのような教科や科目があり、どのような授業がおこなわれているのか。
- ・部活動の内容や主な行事とその取り組み方はどうか。
- ・卒業後の進路は、どうなっているのか。
- ・大学や短大への指定校推薦や優先入学制度はあるのか。
- ・進学や就職の指導は、どうなっているのか。 など

☆ 進路に関する情報が載っている情報を集めよう

- ・東京私学ドットコム

学校を探そう(マップから探す、学校イベントから探す、学校一覧から探す)

- ・東京都教育委員会ホームページ

都立学校を探す(都立学校への入学、都立高校等検索、学力検査問題等、「集団討論、小論文・作文、実技検査のテーマ等一覧」)

- ・東京新聞 TOKYO Web
- ・首都圏公立高校入試

首都圏の1都6県の過去10年間の入試問題が手に入ります。

Eライブラリーに過去問が入っています。

(3) 学校見学・学校説明会に参加するときは

これから学校見学・学校説明会に参加して、自分に合った学校を選択していきます。高校側も「自分の学校の特色を知ってもらった上で選んでほしい」と考えています。本やネット情報だけでなく、自分自身で確かめ、悔いの残らない進路選択をしてください。

私立高校の中には、推薦受験や併願優遇での受験の際、説明会参加や見学が条件となっている場合があります。

また、音楽・美術系の学校は必ず講習会に参加しましょう。

基本は各家庭から直接高校に予約をしますが、中学校を通して予約する必要がある場合もあるので、わからなければ担任に相談してください。

- ①友達と誘い合っただけで行くのではなく、保護者の方と参加しましょう。
- ②きちんとした服装(標準服)、身だしなみ、態度で臨みましょう。
(高校の先生はチェックしています)
- ③対応して下さった担当の先生の名前や大切なことはメモしておきましょう。

II 進路先について

1 就職について

(1) 就職する方法

①公共職業安定所（ハローワーク）を通して就職する方法

ハローワークでは、学校と連絡を取り、本人と保護者と面接をして就職の相談をしていくことが、法的に定められています。そのため、給与・待遇などの雇用条件をめぐるトラブルを防ぐことができますし、本人も安心して就職することができるようになっています。

府中公共職業安定所（ハローワーク府中）

住所：東京都府中市美好町1-3-1 電話番号：042(336)8609

②縁故就職

親戚や知り合いなどの紹介で就職先を決定すること。ハローワークを通すのと違って、給与・待遇などの雇用条件を明確にしないまま就職するケースがあります。あとでトラブルにならないためにも、事前によく雇用条件を確認しておく必要があります。

(2) 就職が決まるまでの手順

1学期 就職希望者の調査 2学期 求人情報の提供、就職相談、面接練習 3学期 就職試験
就職試験は「面接」が中心ですが、大きな事業所ではテストや作文が行われることもあります。

(3) 就職状況

東京都において、令和3年3月に卒業した生徒で就職した者は120人。就職を希望しても簡単には就職できず、就職を希望する生徒にとってはきびしい現状にあります。

(4) 企業内学校

トヨタ自動車系列のトヨタ本社・日本電装・日野自動車や日立製作所、自衛隊では、その中堅技術者を養成するために、学校を設けています。その中で東京都には日野工業高等学園（日野市）があります。これは就職をしながら科学技術学園高等学校（世田谷区）との技能連携制度により高校卒業資格を得ることもでき、また奨学金という形で給与も支給されます。

(5) 職業能力開発センターについて

短期間で専門的な職業技術を習得し、より有利な就職を行うための東京都が実施する公共職業訓練機関です。学校からハローワークを通じて申し込みます。訓練終了後にはハローワークが就職のあっせんをしてくれます。ただし、広く一般の就職希望者に門戸を開けてあるため、高校を卒業した人や大学を卒業した人も多く入学します。

応募する場合は、高校入試や就職試験と同時期になり併願はできないので、慎重に考えましょう。

詳しくはハローワークで調べる必要があります。

2 専修学校について

「専修学校」の目的は「職業もしくは実際生活に必要な能力を育成し、または教養の向上を図ること」です。「専修学校」は3種類に分けられます。

(1) 専修学校の課程

高等課程……中学校卒業程度の人を対象に実務面にウェイトをおいた教育を行っています。

専門課程……高等学校卒業程度の人を対象としています。

一般課程……入学資格を特にもうけていませんが一般に社会人を対象としています。

(2) 高等専修学校とは

美容師、調理師、ファッションデザイナー、情報処理技術者など様々な職業につくための具体的な教育に重点を置いている学校です。修業年限は1年制から5年制まで色々なコースがありますが、3年制以上の学校で大学入学資格の指定を受けている学校や、通信制高校と技能連携している学校であれば、高校卒業と同等の資格が得られ、卒業後に大学・専門学校・短大に進学することもできます。また、東京都内の学校であれば私立高校と同じように「高等学校等就学援助金」や東京都の「授業料軽減助成金」に対象になっており、所得に応じて授業料が軽減されます。

(3) 高等専修学校と資格

1. 高等専修学校を卒業することにより取得・・・調理師

2. 高等専修学校を卒業と同時に受験資格を取得

自動車整備士(3級)、准看護師、製菓衛生師、理容師、美容師

3. 高等専修学校卒業により試験の一部が免除

第2種電気工事士、電気通信設備工事担任試験

(4) 学費

高等専修学校の初年度納入金の平均は60～100万円(入学金10～20万円、授業料・施設費・行事費50～80万円)ですが、コースにより大きな幅があります。教材費が別になっている場合や、技能連携校の通信教育費を別に支払う場合がありますので、事前によく確認することが必要です。

(5) 近隣の高等専修学校

- ・東京多摩調理製菓専門学校(最寄駅:聖蹟桜ヶ丘)・・・調理高度技術学科、調理師科、製菓・製パン科
- ・大竹高等専修学校(最寄駅:西八王子)・・・調理師科、美容師科
- ・武蔵野東高等専修学校(最寄駅:三鷹駅)・・・総合キャリア学科
- ・芸術工芸高等専修学校(最寄駅:聖蹟桜ヶ丘)・・・デザイン学科

3 高等専門学校(高専)について

高等専門学校は、職業に必要な能力をより深く育成するための学校で、一般に高専と呼ばれています。修業年限は工業高専では5年、商船高専では5年6ヶ月です。

東京には、国立1校、都立1校、私立1校の工業高専があります。

高専卒業後は、企業に技術者として就職する生徒、大学の3年生に編入学する生徒、高専に設置されている専攻科(修業年限2年)に進学し大学卒業者と同じ資格(学士)を得るなどのコースに分かれています。

なお、都立産業技術高等専門学校の入学試験については、「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」の冊子の最後のページにも記載されています。

資料 都内の高等専門学校

	校名	所在地	学科
国立	東京工業高等専門学校	八王子市	機械工学科・電気工学科・電子工学科 情報工学科・物質工学科
都立	東京都立産業技術高等専門学校	品川区 荒川区	ものづくり工学科 ※8コースが設置されています
私立	サレジオ高等専門学校	町田市	デザイン学科・電気工学科 機械電子工学科・情報工学科

4 高等学校について

(1) 高等学校の種類 設置者による高等学校の分類

	都立高校	私立高校	国立大学附属高校																				
教育方針	・都の教育委員会の教育方針に基づいた教育を行っている。近年、授業・進路指導・部活など各校の特色を出している。	・創設者の「建学の精神」や宗教などにより、各校が特色ある教育を行っている。	・国立大学の付属校で、教育に関する理論・実験に協力するための「教育研究校」として設置されている。																				
男女別	・男女共学。ただし、男女比は学校によって異なる。	・男女共学校が半数以上を占めるが、男女別学校は共学校に変更する学校が増えている。	・「お茶の水」は女子校、「筑波大駒場」は男子校。他は共学校。																				
受験制度	・都内どこにでも出願できる。推薦制度もあり、普通科は募集人員の2割以内、専門学科等は3割以内等。 ・第一次募集では調査書点と5科目の入試を行う学校がほとんどだが、異なる学校もある。	・推薦入試では、合格したら必ず入学するという約束のもと、推薦書・調査書、作文・面接・実技試験などがある。 ・一般入試ではほとんどが国数英の試験と面接・作文等。	・基本的に学区制はないが、通学区や通学時間を制限している学校もある。東工大附属には、定員の3割の枠で推薦制度がある。 ・5科目入試がほとんどだが、3科目で実技試験を行う学校もある。																				
学費	<table border="0"> <tr> <td>全日制</td> <td>定時制</td> </tr> <tr> <td>入学考査料 2,200円</td> <td>950円</td> </tr> <tr> <td>入 学 料 5,650円</td> <td>2,100円</td> </tr> <tr> <td>授 業 料 118,800円</td> <td>32,400円</td> </tr> </table> <p>「就学支援金」制度により、授業料の負担は家庭によって異なる。 その他教科書費、行事費など10~20万円。</p>	全日制	定時制	入学考査料 2,200円	950円	入 学 料 5,650円	2,100円	授 業 料 118,800円	32,400円	<table border="0"> <tr> <td>受験料 約18,000円~30,000円</td> </tr> <tr> <td>入学金 約250,000円</td> </tr> <tr> <td>授業料 令和4年度348,000円~1,347,000円(平均474,897円)</td> </tr> <tr> <td>その他、施設費等もかかる。</td> </tr> <tr> <td>初年度納付金 平均945,522円</td> </tr> <tr> <td>都内在住で年収約910万円未満の世帯に対し「就学支援金」+「授業料軽減助成金」が補助される。</td> </tr> </table>	受験料 約18,000円~30,000円	入学金 約250,000円	授業料 令和4年度348,000円~1,347,000円(平均474,897円)	その他、施設費等もかかる。	初年度納付金 平均945,522円	都内在住で年収約910万円未満の世帯に対し「就学支援金」+「授業料軽減助成金」が補助される。	<table border="0"> <tr> <td>検定料 9,800円</td> </tr> <tr> <td>入学科 56,400円</td> </tr> <tr> <td>授業料 115,200円</td> </tr> <tr> <td>その他、施設費等もかかる。</td> </tr> <tr> <td>初年度納付金 約52万円</td> </tr> <tr> <td>「就学支援金」制度により、授業料の負担は各家庭によって異なる。</td> </tr> </table>	検定料 9,800円	入学科 56,400円	授業料 115,200円	その他、施設費等もかかる。	初年度納付金 約52万円	「就学支援金」制度により、授業料の負担は各家庭によって異なる。
全日制	定時制																						
入学考査料 2,200円	950円																						
入 学 料 5,650円	2,100円																						
授 業 料 118,800円	32,400円																						
受験料 約18,000円~30,000円																							
入学金 約250,000円																							
授業料 令和4年度348,000円~1,347,000円(平均474,897円)																							
その他、施設費等もかかる。																							
初年度納付金 平均945,522円																							
都内在住で年収約910万円未満の世帯に対し「就学支援金」+「授業料軽減助成金」が補助される。																							
検定料 9,800円																							
入学科 56,400円																							
授業料 115,200円																							
その他、施設費等もかかる。																							
初年度納付金 約52万円																							
「就学支援金」制度により、授業料の負担は各家庭によって異なる。																							

(2) 都立高等学校の種類と課程、学年・単位、学科による内容について

昨年度の「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」より抜粋

課程

- 1 全日制課程・・・朝から午後までの日中に授業があります。
- 2 定時制課程・・・夜間、その他定められた時間帯に授業があります。
- 3 通信制課程・・・自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日（月2日程度）に登校し、面接指導を受けます。

学年制と単位制

- 1 学 年 制・・・学習する教科・科目が、学年ごとに定められており、その学習成果が認められると単位が与えられ、次の学年に進級する制度です。全日制は3年、定時制は4年（一部は3年）を修了すると、卒業が認められます。
- 2 単 位 制・・・学年の区別がなく、3年間（又は4年間）の中で必修（必履修）科目の他に自分に適した教科・科目を選択し、その学習成果が認められ、入学から卒業までに決められた単位数を修得すれば卒業できる制度です。

都立高等学校の学科

※令和4年度入試で募集を行う予定の学科を記載しています。

1 普通科

国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報の各教科を中心に学習します。各教科は、更にいくつかの科目に分かれています。学校が定めた教育内容に従い、定められた科目や自分で選択した科目を学習します。大学・短大・専門学校への進学や就職など、幅広い進路に対応します。

2 普通科（コース制）

普通科の一部ですが、皆さんの興味・関心や希望に応じられるよう、学習内容の重点化を図り、様々な選択科目を設けています。1年次から語学系、美術系のコースに分かれて学習します。深川高校（外国語コース）、片倉高校（造形美術コース）、松が谷高校（外国語コース）、小平高校（外国語コース）があります。

3 農業に関する学科

農業の各分野で活躍できる技術者の育成を目指して、農産物の栽培や飼育を通し、自然に親しみながら専門的な知識やバイオテクノロジーなどの技術を身に付けます。

4 工業に関する学科

工業の各分野で活躍できる技術者の育成を目指して、専門的な知識やものづくりの技術・ハイテク技術などを身に付けます。

5 工業に関する学科（デュアルシステム科）

企業でものづくりの長期就業訓練を授業として受け、実践的な技術・技能を身に付けます。企業と生徒の合意により、卒業後、就業訓練先の企業に就職することもできます。

6 科学技術科

科学や技術について幅広く学び、卒業後、理系の大学等において専門性を高めるための基礎力を身に付けます。科学技術高校及び多摩科学技術高校に設置しています。

7 ビジネス科・商業科

経理、情報処理などの商業の分野や国際化に対応する分野で活躍できる人材の育成を目指して、専門的な知識や技術を身に付けます。

8 ビジネスコミュニケーション科

激変する社会環境の中で、自立することのできる人材の育成を目指します。英語や実践的なビジネス科目を学び、社会科学系及び人文科学系大学への進学を目指します。大田桜台高校及び千早高校に設置しています。

9 情報に関する学科

高度情報通信社会の諸課題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てるため、情報の各分野に関する知識と技術を習得します。新宿山吹高校に設置しています。

10 産業科

生産・流通・消費の各過程の関連性を学び、起業家精神を育成します。従来の学科の枠を超えた新たな学科として、橘高校及び八王子桑志高校に設置しています。

11 海洋国際科

都立高校で唯一、大島海洋国際高校に設置しています。海洋について様々な視点から学び、海洋課題に対応できる人材を育成します（令和4年度から大島海洋国際高校の国際関係に関する学科を海洋国際科に改編予定）。

12 家庭に関する学科

家庭生活に関する専門科目の学習を行うことにより、衣食住、保育、看護や介護などの知識や技術を身に付けます。赤羽北桜高校、農業高校、瑞穂農芸高校及び忍岡高校に設置しています。

13 福祉に関する学科

各種福祉施設、病院、保育園などで実習や体験学習を行いながら人間尊重の精神をしっかりと身に付け、社会の援助者として行動できる人材を育成します。赤羽北桜高校及び野津田高校に設置しています。

14 理数に関する学科

理数系の幅広い素養と情報活用能力等を高いレベルで併せ持ち、新しい価値（イノベーション）を生み出すことのできる人材を育成します（令和4年度から立川高校普通科の一部を理数に関する学科に改編予定）。

15 芸術に関する学科

音楽、美術、舞台表現に関する専門科目の学習を行うことにより、感性と表現力を身に付け、将来にわたって芸術の発展に寄与する人材の育成を目指します。総合芸術高校に、「音楽科」、「美術科」及び「舞台表現科」を設置しています。

16 体育に関する学科

体育・スポーツに関する専門科目の学習を行うことにより、保健体育に関する知識・技能を身に付けます。共通科目の他に、学校によりバレーボール、バスケットボール、サッカー、体操、陸上、水泳、柔道、剣道などの専攻に分かれた専門の学習を行います。駒場高校及び野津田高校に設置しています。

17 国際関係に関する学科

国際関係、日本の伝統文化、異文化理解などに関する学習や、自分が設定した課題を深く学ぶ課題研究型の学習を行います。また、外国語（英語など）の高度な運用能力を身に付けることを目指します。こうした学習を通して、豊かな国際感覚を身に付け、積極的に国際社会で行動できる人材を育成します。

国際高校に、英語のほか、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語及び韓国・朝鮮語などを学ぶことができる「国際学科」を設置しています。また、海外の大学への進学を目指すためのコース「国際バカロレアコース」を設置しています。

18 総合学科

共通科目から専門科目まで幅広い選択科目の中から、自分の特性や進路希望に合った科目を選択し、系統的、専門的に学習します。自分の生き方や将来の進路を考える「産業社会と人間」を全員が学習し、科目選択に生かします。

19 併合科

二つの学科を一つの学級に編制している学校もあります。これを、併合科としています。全日制では、大島高校（農林・家政）、三宅高校（農業・家政）、八丈高校（園芸・家政）があります。定時制では、瑞穂農芸高校（普通・農業）があります。

(3) 私立高等学校について

【私立高等学校の種類】

① 課程について

- ・全日制…大半の私立高校がこれにあたります。多くの学科とコースに分かれています。3年制の高校です。
- ・定時制…昼間定時制の高校（科学技術学園高校・中央大学高校・国士舘高校(定時制)）
夜間定時制の高校（駿台学園高校） 都立とは違い全て3年制です。
- ・通信制…科学技術学園高校・NHK学園高校・あずさ第一高校・東海大望星高校
目黒日本大学高校・北豊島高校・聖パウロ高校・大原学園・立志社高校・大智学園高
校・クラーク記念国際高校他にも広域通信制の高校で、東京に本部や支部を開設してい
る学校が多数あります。
修業年数は3年以上です。
- ・単位制…あずさ第一高校・大智学園高校・クラーク記念国際高校など通信制の多くの学校で取り
入れられています。 修業年数は3年以上です。
- ・高等専門学校…サレジオ高等専門学校の1校のみです。修業年数は5年制です。

② 学科について

- ・普通科…大半の学校に設置されています。近年、特別進学コースや保育、福祉など進路別のコ
ースに細分化する傾向があります。
- ・専門学科やコース(例)

運輸科……………岩倉高校	鉄道科……………昭和鉄道高校
衛生看護科……………愛国高校	理数科……………日大豊山女子高校
食物調理科……………駒場学園高校	
福祉コース……………大東学園高校	
外国語科（ロシア語、韓国語、他5か国語）……………関東国際高校	など

【私立高等学校卒業後の進路】

私立高校の中には、併設の大学をもち、優先的に進学できる大学付属の高校があります。しかし、それぞれの学校により制度が異なり、付属の大学や短大に進学する生徒が少ない学校もあります。

また、大学付属でなくとも推薦指定校となっている高校も増えています。（都立高校でも大学の指定校になっているところが多くあります。）

<私立高校の学費負担を軽減する制度>

1. 就学支援金・授業料軽減助成金（返済不要）

私立高校等に在学している生徒の学費負担を軽減する目的で設置した制度で、税額基準などがありますが、返済の必要がないもので、入学後手続きをするものです。

世帯年収の目安……約910万以下 → 469,000円まで

所得により変動します。詳細は私学財団ホームページを参照してください。

2. 入学支度金（貸付・無利子）

都内に住んでいる生徒の保護者に対し、入学時に要する経費の一部（25万円）を無利子で貸与する制度です。問い合わせ先は入学希望校です。

3. 就学支度費制度（貸付・無利子）

入学に際して必要な支度費（入学金・教科書・制服・通学カバン・通学用自転車等）としてかかる金額から自己資金（被保護者は保護支給額を含む）で対応できる金額を除き、限度額の範囲で貸付を受けられます。問い合わせ先は市の社会福祉協議会です。詳細は、就学支度費制度のホームページをご覧ください。

4. 特待生制度

各学校では、成績優秀者を対象に入学金や授業料の全部、又は一部を免除する特待生制度を設けています。詳細は、各学校にお問い合わせください。

5. 各学校の奨学金制度

一部の学校では、学校独自に奨学金制度をもっています。

6. 東京都育英資金（貸付・無利子）

詳細は、東京都私学財団のホームページをご覧ください。また、パンフレットも八中に郵送されています。早めに担任に申し出てください。

上記のほかにも、国や東京都からの助成等もあります。

（参考：「東京都私学財団」、「あしなが育英会」のホームページをご覧ください。）

Ⅲ 入試の形態について

<受験のパターン>

- 私立のみ受験する場合
- 都立第一志望で私立も受験する場合（一番多い受け方）
- 都立のみ受検する場合

1 私立のみ受験する場合

(1) 推薦入試（入試日・・・1月中旬）

大半の私立高校で募集人数の約50%以内の枠で推薦入試が実施されます。次の条件をクリアした生徒が受けることができます。

- 1 その私立高校が第一志望であること。
→合格した場合必ず入学しなければならない。他の学校は一切受験・受検できない。
- 2 在籍する中学校長の「推薦状」がもらえること。
- 3 その私立高校が示す成績*や出席状況*などの推薦基準に該当すること。

***成績** …大半の高校が第3学年の内申（1・2学期の総合評定）を基準としていますが、中には中学校3年間または3年の1学期の評定を参考にする高校もあります。

例) 9教科の合計、5教科の合計、3教科の合計など。ただし、評定の中に「1」や「2」があると不可という高校もあります。また、英検・漢検・数検の3級以上の資格がある、3年間皆勤、部活動を3年間続けた、などは有利に扱われる場合もあります。

***出席状況**…多くの学校で欠席・遅刻・早退についての基準を設けています。ただし、高校が示した基準を越えている場合でも、病気やけがなどの明確な理由があれば認められることがあるので、早めに高校に問い合わせましょう。

上記の条件をクリアした場合、私立高校の担当の先生と中学校の教員との間で**入試相談**を行います。推薦基準は学校によって異なるので、必ず学校説明会や合同説明会等で確認して下さい。

入試相談とは

- 1 私立高校の推薦入試を希望する場合や、併願優遇制度で受験を希望する生徒について、その学校の基準に達しているか、どのような中学校生活を送ってきた生徒なのかを確認し、私立高校から在籍する中学校の先生に「合格の可能性」が伝えられる場です。通常12月15日以降の数日間で行います。
- 2 相談で使用する資料は、生徒に関する学習（内申および観点別評価）・実技・特別活動・出欠等の記録で行い、業者テストを始めとする「偏差値」を用いた相談は行いません。
- 3 入試相談では「合格の可能性」が述べられるだけで、決して「確約」や「内定」は行われません。また、入試ですので当然不合格になることがあります。

※ 東京都以外の県（埼玉県や神奈川県等）は制度や日程が違うので、必ず受験を希望する私立学校に問い合わせてください。

・相談資料・・・学校によって若干違いますが、次の資料が基本となります。

ア) 中学校3年間の学習の記録

・ 1、2年生のときの記録

・ 3年生の記録

※都立高校へ出す成績一覧表に掲載される12月31日段階の成績が基本です。

・ 出欠の記録

・ 特別活動の記録（部活動や委員会活動などです）

イ) 実技または特性に関する記録

ウ) その他、希望者の成績・能力・特性に関する資料。

英検や漢検、数検などの資格や学校外での活動の記録も大切な判断の資料となります。

・相談結果

相談資料をもとに、高校側が希望者の合格可能性を伝えてくれます。基準に達していない場合は受験できない、または一般入試で受験するように言われる場合があります。

推薦入試を受験した生徒はほぼ全員合格していますが、面接や作文によっては不合格になることもあります。

< 入試内容 > おもに、面接や作文・小論文など（学校によって異なる）

なお、入試相談を行わないで推薦入試を実施する高校もあります。成績などの基準を満たしており、中学校長の推薦を受ければ出願でき、学力試験・面接・作文または小論文などによって選抜されますが、事前に合格の可能性はわかりません。試験の結果によっては不合格になることもあります。

(2) **第一志望受験（入試日 2月中旬・・・一般入試の日に行われる場合が多い）**

次の条件をクリアした生徒が受けることができます。

1 **その私立高校が第一志望であること（合格後の入学辞退は一切認められない）**

2 **その私立高校が示す成績 出席状況などの基準を満たしていること。**

上記の条件をクリアした場合、**入試相談**を行います。

< 入試内容 > おもに、面接や作文や小論文・学力試験（3教科）など（学校によって異なる）

(3) **一般入試（入試日 2月中旬） いわゆるフリー受験**

入試相談を通さずに出願でき、複数校受けることができます。合格した中で希望の高校に入学できます。ただし、事前に合格の可能性はわかりません。

< 入試内容 > おもに、面接や作文や小論文・学力試験（3教科）など（学校によって異なる）

2 都立第一志望で私立も受験する場合

(1) 私立高校を一般入試で受ける場合（いわゆるフリー受験）

入試相談を通さずに、複数校受けることができます。大半の高校は当日の試験の得点によって合否を判定します。試験日を2日以上設定し受験の機会を増やす高校が増えています。一部の高校では二次募集も実施しています。

< 入試内容 > おもに、面接や作文や小論文・学力試験(3教科)など（学校によって異なる）

(2) 併願優遇制度を利用する

いわゆる「併願」制度のことです。おもに他の高校との併願を認め、入試相談を通して**第一希望の高校に不合格だった場合、必ずその私立高校に入学**することを条件に、優遇的な措置をしてくれる制度です。（学校によって第一志望を公立(都立)のみとするところと、他の私立高校との併願も可能な高校もあるのでよく調べて説明会等でも聞いてください。）

- ①成績等の基準は推薦の基準よりも厳しい。（英検や漢検などによる加点が認められなかったり、9教科の内申の合計が「22」に達していないと、併願優遇してくれる高校はほとんどない）
- ②当日の試験で油断すると不合格になることもある。
- ③入学の手続きは都立の一次・前期試験の発表の翌日まで待つてくれる高校がほとんど。

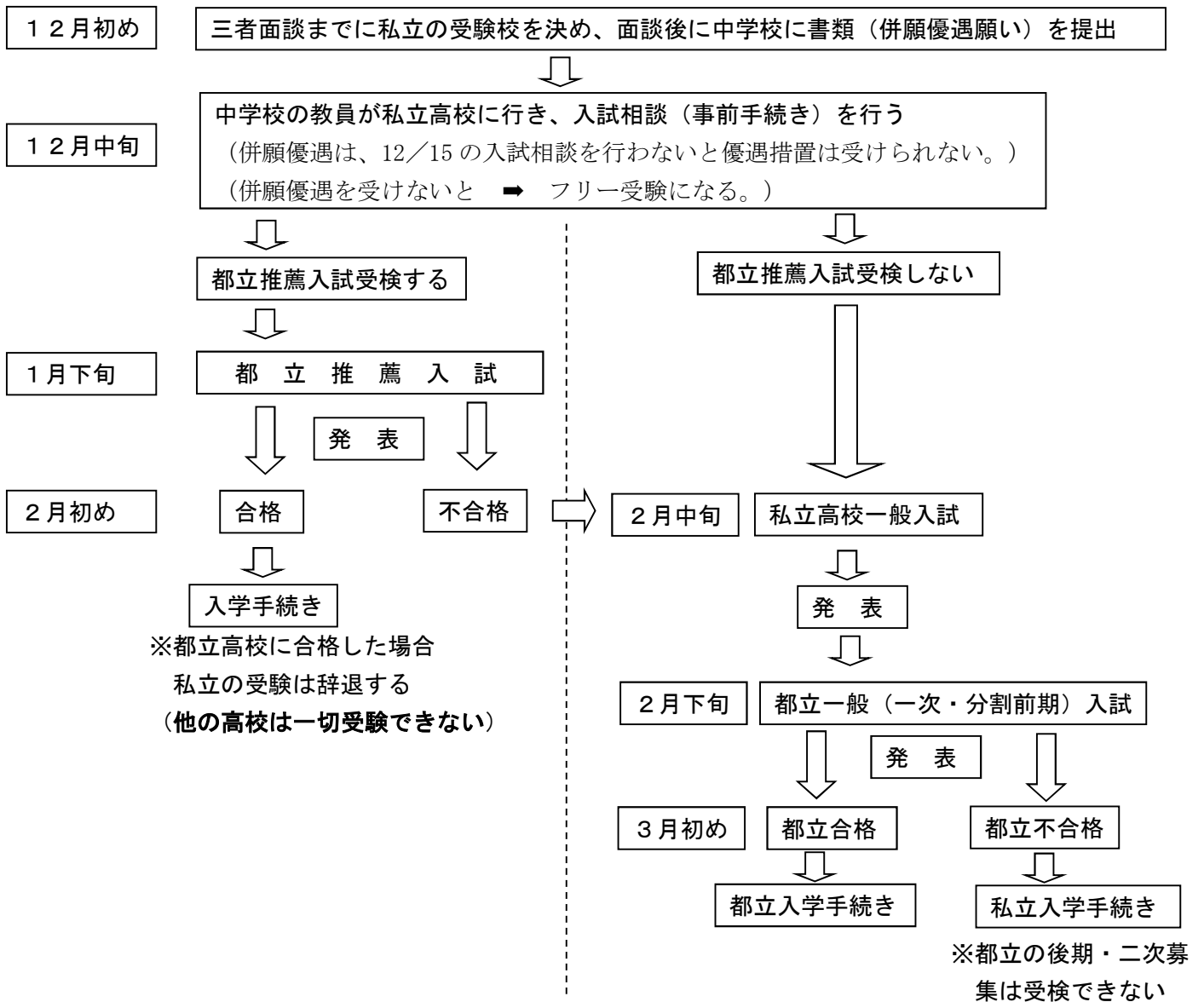
< 入試内容 > おもに、面接や作文や小論文・学力試験(3教科)など（学校によって異なる）

★留意事項★

第一志望の高校が不合格だった場合、私立の併願校の入学を辞退することはできません。また、他の学校を二次募集で受けることもできません。よって、併願優遇制度を利用するかどうかしっかり考慮してください。

私立の併願校は「第二志望」であること。「こんな学校に行くつもりではなかった」ということにならないように慎重に選びましょう。「第一志望の高校が不合格だった場合、この高校に行って頑張ろう」と思える学校を併願校にすること。

<併願優遇制度を使った私立高校受験と都立高校受検の流れ>



(3) 都立推薦入試について

都立の推薦に基づく入試は「一般推薦」と「文化・スポーツ等特別推薦」の2種類があり、次のような条件を満たしている生徒が受けることができます。

【条件】 (例：「本校の期待する生徒の姿」より抜粋)

- ・ 推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒
- ・ 中学校における出席状況や学習状況が優秀である生徒
- ・ 学校内外の諸活動で、中心的な役割を担い得るリーダーシップのある生徒

【選考】

- ・ 調査書点のほか、集団討論または個人面接、小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績で行う。

合格した場合は必ず入学しなければなりません。他の学校の受験は一切できません。ただし、推薦で不合格だった場合は、同じ都立高校をもう一度受検することもできますし、他の都立高校を受検することもできます。

★留意事項★

推薦入試は、面接や集団討論などの対策を取る必要があります。平均倍率約3倍（3人のうち2人が不合格）で、不合格だった場合の精神的ダメージは予想以上に大きいので、受検のチャンスが2度あると安易に考えず、慎重に考えましょう。

※都立高校の集団討論について（参考：令和5年度については集団討論が行われるか未定）

検査官3名（若干、2名もある）に対して受検生5～7名で、与えられたテーマについて話し合いを行います。時間は30分程度が標準的です。テーマについて自分で考える時間が2～3分与えられます。テーマ内容は大きく3パターンに分けられます。

- ① 部活、クラス活動、行事など学校生活における問題事項の対処法。
- ② スマホ・自転車のマナー、公共乗り物の優先席やゴミ問題についてなど、日常生活における話題。
- ③ 成人年齢の引き下げについてどのように考えるかなど、時事的話題と高校生活を合わせたテーマ。
(日頃から、ニュースをチェックしておく必要があります。)

形式は討論というよりも、お互いに意見を出し合うというケースが多いようです。司会は、検査官が行ったり、受検生の中から選出したりと、各学校により様々です。司会者に立候補しても、それが直接ポイントになることはないようです。いずれの形式にしても、討論に積極的に参加しているか、他人の意見をきちんと聞いているか、自分の発表が課題や議論から逸脱していないかが、チェックポイントになっているようです。短い時間の中で、自分の考えを整理する練習が必要です。また、全体的に協調性という部分も見られます。集団討論は、他の受検生と競い合うのではなく、同じグループでの共同審査ということを念頭に、お互い協力し合うといった姿勢も大事になります。

(4) 都立の学力検査に基づく入試（第一次募集・第二次募集・分割募集）

学力検査に基づく入試では「第一次募集」の結果、入学手続人員が募集人員に達しない学校が「第二次募集」を行います。また、都立高校には「分割募集」といい、あらかじめ募集人員を分割し「分割前期募集」と「分割後期募集」の2回に分けて募集を行う学校があります。

【受験教科】		【学力検査の得点と調査書点の比率】	
		学力検査：調査書点	
全 日 制	第一次募集・分割前期募集→原則として 5教科	7	3
	第二次募集・分割後期募集→原則として 3教科	6	4
定 時 制	第一次募集・分割前期募集→ 5～3教科と面接	7	3 または 6 : 4
	第二次募集・分割後期募集→ 3教科と面接	6	4 または 5 : 5

※学校によっては、学力検査と面接に加え、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。
※全日制のうち10校では国数英の3教科を自校で作成した問題と、社会と理科の都立共通問題で学力検査を実施します。(八王子東、国立、立川、国分寺など)また、国際高校については、英語の問題のみを自校で作成しています。
※一部の定時制高校でも、自校で作成した問題で入試を行います。(八王子拓真、農産)

【選考】

学力検査の得点および調査書点のほか、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する学校ではこれらの点数を総合した成績で行う。

チャレンジスクール（世田谷泉など）では調査書点を用いず、また、学力検査を行わず、志願申告書、個人面接および作文により選考を行う。

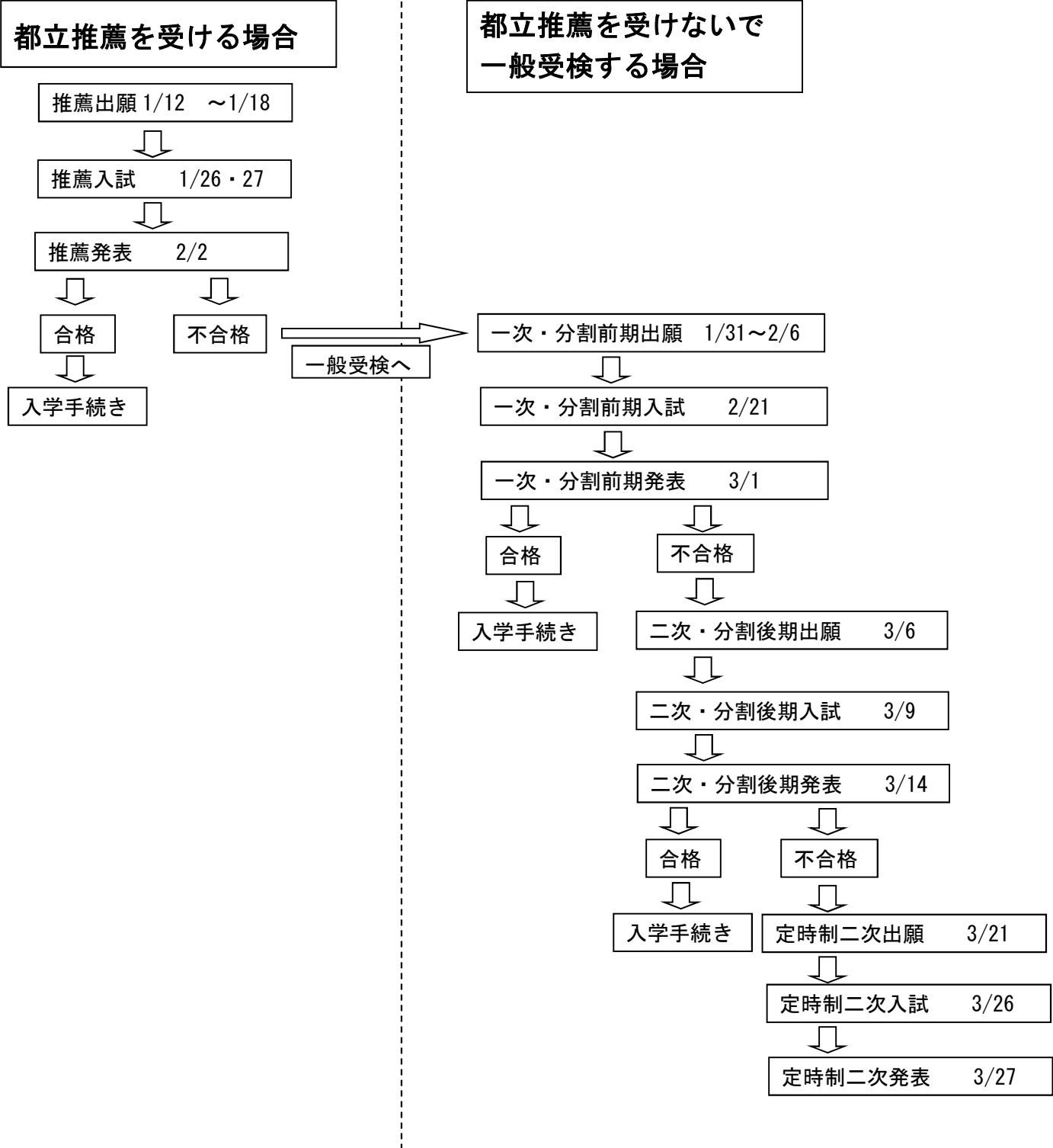
エンカレッジスクール（秋留台・東村山など）では、学力検査を行わず、調査書、個人面接、小論文又は作文および実技検査の各得点を総合した成績で選考を行う。

3 都立高校のみ受検する場合

私立高校を受けず、都立高校のみ受検する場合、第一次募集・分割前期募集で不合格だったらどうするか慎重に考えておいてください。

令和6年度の日程です

<都立高校（全日制）受検の流れ>



IV 中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) について

令和5年度から都立高校入試に中学校英語スピーキングテストの結果が活用されます。これまでの総合得点にスピーキングテストの20点満点分が加算され、合計1020点満点となります。

都立高校を受検する、受検しないに関わらず、スピーキングテストは全員受けることになっています。

先日、生徒の皆さんには「生徒用申込みマニュアル」を配布し説明をしましたが、手続きはすべてインターネットにて各ご家庭で行っていただきます。

<中学校英語スピーキングテスト>

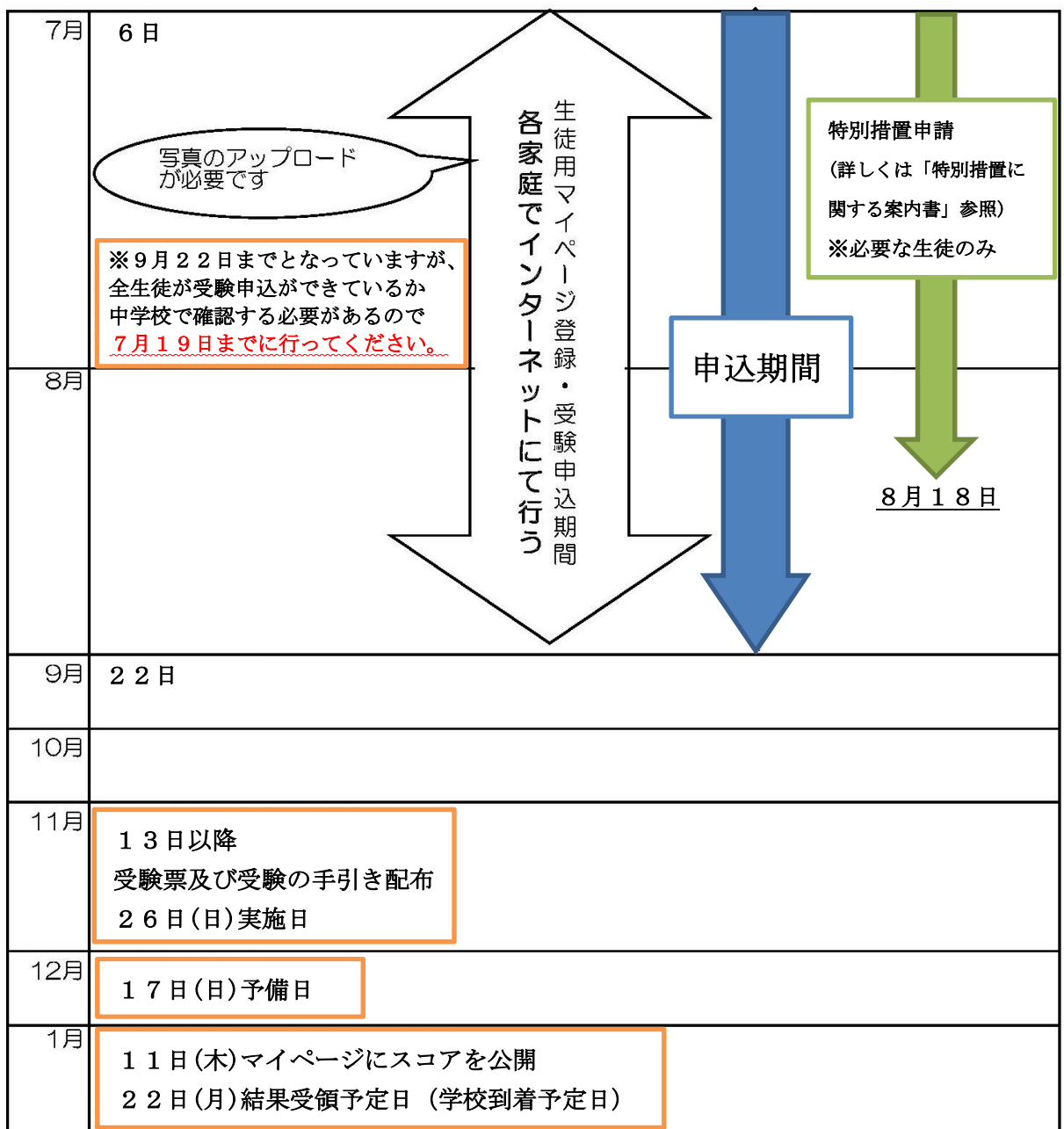
実施日：令和5年11月26日(日) 12:30 までに着席 13:00 開始 15:40 解散予定

予備日：令和5年12月17日(日)

会場：東京都教育委員会から指定された会場（都立高校等）

実施時間：65分

<スケジュール>



V 今後について

1 今後の大まかなスケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
三者面談	学校見学 学校説明会	実力テスト② 中間考査	進路説明会 合唱コンクール 実力テスト③ 三者面談	期末考査	三者面談 入試相談	私立推薦 都立推薦	私立一般入試 都立一次・分割前期入試

会場テスト・模擬テストは可能な限り、各自で受けてください。テストの結果を三者面談時に持ってきてもらおうと、資料として活用することができます。

2 夏休みの過ごし方

(1) 夏休みの学習計画を立てましょう

1・2年生の範囲の復習、3年生の1学期の復習をしっかりとやりましょう。

これから新しい問題集を買って学習を始めようと思っている人は、分厚いものではなく薄いもので解答・解説が詳しく載っているものを選びましょう。この夏休み中に基礎・基本を身に付けることが大事です。

(2) 生活リズムを崩さないようにしましょう

2学期の初めに学校に通うのが大変にならないように、1日の生活時程を作り、メリハリのある生活をしましょう。ゲームやスマホを何時間使っても一日は一日。自分で制限できない場合は、家族に**あずかってもらう**とか、友達同士でこの時間帯は**ラインやオンラインゲームはしない**、と決めたりすることも必要です。

(3) 上級学校の見学・説明会等に参加しましょう

都立高校・私立高校共に、多くの上級学校で学校説明会や体験授業の機会を設けています。2学期に入ると行事や模擬試験等で忙しく、意外と行くチャンスがありません。早めに予約を入れて積極的に参加しましょう。

○進路年間予定

月	中学校進路指導関係	入試関係	就職関係
5	・上級学校説明会		
6	・第1回進路説明会 ・第1回実力テスト(26日)	・冊子「都立高校に入学を希望する皆さんへ」(都からの配布)(予定)	
7	・第1回進路希望調査 ・三者面談①(夏休み中)		
8	・夏休み中(上級学校の見学・説明会に行きましょう。当然、1・2学期も可です。) ★自分の進路を決めるための見学・説明会です。必ず、行いましょう。★		
9	・第2回実力テスト(27日) ・第2回進路希望調査	・都立高校入学者選抜実施要綱発表 ・私立高校説明会(一部は8月から)	
10	・高校教員面接講座(6日) ・第2回進路説明会(13日) ・第3回実力テスト(18日) ・第3回進路希望調査 ・三者面談②(23日～29日) ・面接練習	・冊子「東京都立高等学校募集案内」(都からの配布)(予定)	・求人情報の提供
11	・第4回進路希望調査 ・自己PR練習		・事業所 見学
12	・三者面談③(4日～8日) ・面接練習 ・集団討論練習	・私立高校 入試相談(15日) ・専修学校 入試開始	・応募書類提出
1	(面接練習) (集団討論練習) ・それぞれの前日指導	・私立高校 推薦入試 ・私立高校 一斉出願 ・都立高校 推薦選抜 ・国立高校 推薦入試 ・都立産業技術高等専門学校(推薦)選考	・就職採用選考
2	・それぞれの前日指導	・都立高校 一斉出願 ・私立高校 一般入試 ・都立高校 学力検査 ・国立高校 学力検査 ・都立産業技術高等専門学校(一般)選考	(見学, 選考等)
3	・それぞれの前日指導	・都立高校 合格発表 ・都立高校 二次出願 二次入試	(見学, 選考等)

VI 本校の進路の状況について

(1) 本校卒業生の進路選択の状況 過去3年間の卒業生の進路別人数割合

	令和5年3月卒業			令和4年3月卒業			令和3年 3月卒業
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	合計
都立高校	72	77	149	74	62	136	124
都内私立高校	48	27	75	50	46	96	68
国立・他県高校・高専等	13	8	21	10	4	14	26
専修学校・就職・その他	3	2	5	2	3	5	10
合計	135	114	250	136	115	251	228

(2) 本校から進学したおもな高校（令和5年3月卒業生、自宅通学）

【都立・国立】

都立南平	都立東久留米総合	都立八王子桑志	都立南平	都立府中工業	都立日野台	都立国分寺	都立狛江	都立総合工科 (建築都立市)	都立農業
都立府中東	都立片倉 (造形美術)	都立神代	都立若葉総合	都立永山	都立第五商業	都立調布北	都立国立	都立松が谷	都立立川
都立八王子拓真	都立府中工業 (情報)	都立府中西	都立豊多摩	都立総合芸術 (音楽)	都立武蔵野北	都立府中	都立第五商業 (定)	都立八王子東	都立赤羽北桜
都立小金井工業	都立砂川	都立砂川 (通)	都立園芸	都立上水	都立松原	都立府中工業 (電気)	都立秋留台	都立駒場	都立昭和
都立世田谷泉	都立杉並総合	都立調布南	都立府中工業 (工業技術)	都立翔陽	都立片倉	都立芦花	都立東村山	順不同	

【私立・専門・専修】

関東第一	サレジオ高専	聖徳学園	成蹊	武蔵野東	科学技術学園	S高	共立女子第二	大東学園	昭和第一学園
顕明	N高	クラーク国際	桐光学園	明星(府中)	八王子学園八王子	聖パウロ学園	流通経済大柏	国立音大附属	日大明誠
明秀日立	東海大菅生	明治学院東村山	大成	八王子実践	日大櫻丘	VAV栄光	駒沢学園女子	桐朋女子	NHK学園
堀越	日本学園	日大鶴ヶ丘	浦和麗明	拓殖大学第一	関東国際	早稲田大学高等学院	日体大荏原	あずさ第一	東海大相模
正智深谷	明法	駿台学園	駒場学園	拓殖大第一	秀明	明大中野八王子	アノマルベリサーチ・シロンカレッジ	帝京八王子	立川女子
ルネサンス	中央大附属								順不同

都立入試で使用する得点を計算しよう！

(参考資料：2年生のときに学習しました)

Step 1 評定を入れてみましょう

国語	社会	数学	理科	英語

5科 あ

音楽	美術	保体	技家

4科 い

Step 2 実力テストの点数を入れましょう。

国語	社会	数学	理科	英語

5科計
え

内申点

$あ + い \times 2$

う

$う \times 300 \div 65$

A

300点満点

当日点

$え \times 700 \div 500$

B

700点満点

A+B

--

1000点満点